窓口支援事例　【鳥取県 知財総合支援窓口】

企業情報

ビッググロウス株式会社

所在地	鳥取県鳥取市		
ホームページ URL	―		
設立年	２０１５年	業　種	製造業
従業員数	４人	資本金	１００万円

企業概要

当社は、柿渋製品の企画・製造・販売を行う会社です。鳥取（八頭町）で栽培された西条柿の渋を染料とし、「わた」の状態で柿渋染めした天然素材（オーガニックコットン）を用いた柿渋製品を全国に発信し、においや肌に悩みを抱えた人たちの症状の改善・緩和を図っています。

当社は、摘果後に廃棄されていた西条柿の青い果実を、柿渋液の材料として活用することにより、柿の生産拡大、放置されている柿園の有効利用を図り、雇用促進や地域の活性化に貢献することを目指しています。

自社の強み

当社は、布製品の企画・製造・販売を行う関連会社を有しているので、この関連会社やその取引先と綿密に連携することにより、それらの企業が持つリソースを有効に活用することが可能で、柿渋製品の企画から出荷まで迅速に対応することができます。

また、柿渋の原材料の調達から柿渋製品の製造・販売まで手掛けられるので、天然素材にこだわった安全・安心な製品をお客様に届けることができます。

一押し商品

「わた」の状態で柿渋染めしたオーガニックコットンを素材とするインナー（右写真）や靴下が当社の一押し商品です。柿渋は平安時代より伝わる日本古来の天然染料で、消臭効果や抗菌効果が知られています。「わた」の状態で染めることにより、風合いが肌に優しく、柔らかな温もりと、優しい手触りが楽しめます。

また、繊維一本一本を柿渋で染めることによって、製品染めに比べて、消臭効果や抗菌効果を発揮する柿渋の表面積を大きくできるとともに、その効果を永く保持させることができます。

知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社が自社製品のブランド化を図るため、製品に付すロゴやネーミングを考えていたところ、同社の関連会社の経営者より、商標登録を受けておいた方が良いというアドバイスを受けたことが、当窓口を利用するきっかけとなりました。

最初の相談概要

同社の製品に使うロゴやネーミングの案について、商標登録を希望されていましたので、商標制度全般、出願前の類似商標の調査手順、出願に要する費用、などについて説明しました。

その後の相談概要

商標登録出願において、費用対効果を考慮して、どのような区分や指定商品が良いのかを助言し、将来実施予定の一部の製品については、実施決定後に出願するように助言しました。また、商標登録出願に使用するロゴに関して、ロゴ作成委託先との間で著作権処理が行われていなかったので、著作権の譲渡契約を行うように助言し、著作権譲渡契約書の雛形を提供しました。

窓口を活用して変わったところ

同社は、他者の柿渋関連の実用新案権の存在をご存知であり、知的財産に関心をお持ちでした。今回、窓口の支援を得て商標登録出願の手続を行うことにより、商標の重要性を改めて認識されました。また、著作権の譲渡契約手続を行うことにより、契約締結の重要性についても充分に認識されるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

知財総合支援窓口に相談すれば、相談案件に関して幅広い助言や支援を受けることができます。また、窓口担当者が会社まで出向いて相談に応じてくれます。知的財産に関して何か不明な点がありましたら、知財総合支援窓口を利用することをお薦めします。

窓口担当者から一言　（氏名：田渕一十志）

同社は、２０１５年１２月に設立されたばかりの若い会社ですが、地域への貢献を目指しつつ、安全・安心な製品作りに熱意を持って取り組まれています。同社のロゴマークが安全・安心な製品として各地で認知され、事業が益々拡大することを期待します。